

本校は、昭和22年新学制施行により、大沼郡新鶴村立新鶴中学校として創設されました。以来その歴史を積み重ね、平成17年会津美里町合併により、現在の会津美里町立新鶴中学校となりました。本年度生徒数は80名、一つのフロアにすべての学年・学級が揃い、生徒と教職員の距離感を生かして、生徒と教職員一丸となり新たな教育目標の実現に邁進しているところです。

さて、本年度より新鶴小学校と本校は小中一貫校となりました。このことにより、小学校と中学校の児童生徒とその保護者、教職員、コミュニティー・スクールなどで地域の方のご意見を頂きながら、新たな教育目標を以下のとおりといたしました。

『豊かな心を持ち、自ら学び行動し、たくましく生きる』

- 豊かな心を持つ生徒
- 自ら学び行動する生徒
- たくましく生きる生徒

社会が加速度的に変化していく今日社会にあっては、答えが一つではない世界的問題や地域的问题が山積しています。このなかで生きていくためには、学習や体験を積み重ねながら土台を作り上げ、生涯にわたって学び続ける力が必要であり、学校には生徒の主体的な学びを支えていくことが求められます。

そうしたなかでの小中一貫教育推進には、カリキュラムを中心とした小学校との連携強化を図り、学校・保護者・地域が一丸となって未来につながる生徒の育成が可能になると考えます。

さらに、これまでの学校課題やコロナ禍のなかで明確となってきた教育活動の成果と課題に加え、今日の学校教育に求められる「不易と流行」、そして学校の在り方、学びの本質が明らかになると考えています。教育の連続性と一貫性の良さを十分に生かし、教育活動を工夫実践しながら9年間の児童生徒の成長へ結びつけていきたいと思ひます。

今後も本校の教育活動へのご理解とご支援を引き続きよろしくお願ひいたします。

会津美里町立新鶴中学校長 本多 康弘